

31H 工藤 朱希 32H 小倉 大志郎 34H 受川 七海
 35H 本吉 奎斗 36H 畝 くるみ

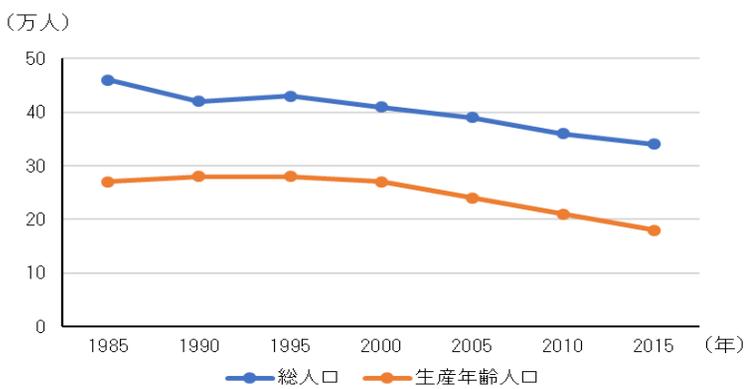
■課題

若者の都市への流出が続き、能登の人口が減少している。

■解決策

子供や若者への支援を増やすことで、人口流出を抑制する。
 能登野菜をブランディング化する。

■能登の人口の現状



生産年齢人口の流出を抑えれば、人口の流出を抑制できる

■成功例（島根県海士町）

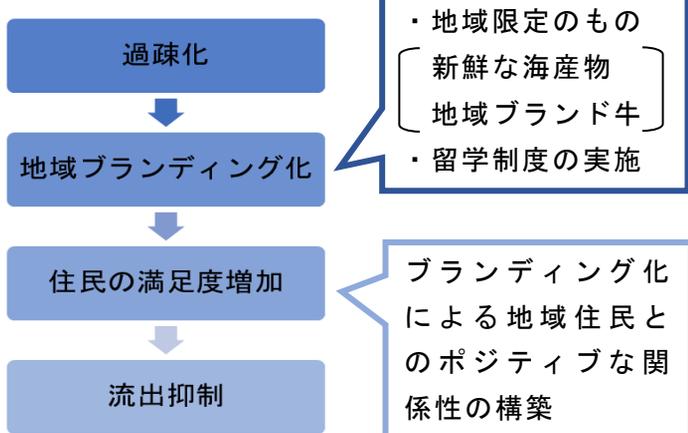
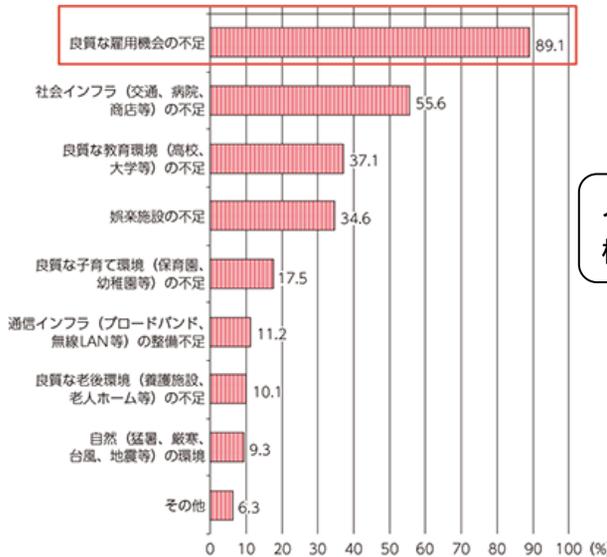


図2 人口流出抑制までの過程

■人口流出の現状



人口流出の原因は良質な雇用機会の不安によるものが多い

雇用機会を増やす！

図3 地方自治体が考える人口流出の要因

出典：総務省 地域におけるICT活用の現状に関する調査研究（平成27年）

■石川県のサポート施設の現状

	設置場所	サポステ名称
66	富山 高岡市	高岡地域若者サポートステーション
67	富山 黒部市	にいかわ若者サポートステーション
68	石川 金沢市	いしかわ若者サポートステーション
69	福井 福井市	ふくい若者サポートステーション

若者へのサポート施設が少ない

図4 若者対象のサポート施設の数

出典：厚生労働省 地域若者サポートステーション一覧（平成25年）

石川県のニートの数

15～34歳の人口は22万6200人で、そのうち7500人(3.5%)

若者へのサポート施設を造り、

就職支援を増やす！

■具体的内容1

- 地元食材「能登野菜」をブランディング化
- 能登野菜を中心に地元食材を使った料理を提供してくれる店をつくる
- (自然を利用した SNS 映えを狙う)

■効果

- 能登の食材の魅力を知り、移住してくる人がでてくる。
- SNSで拡散され知名度が上がり若い人を中心に能登に興味を持つ人が増える。

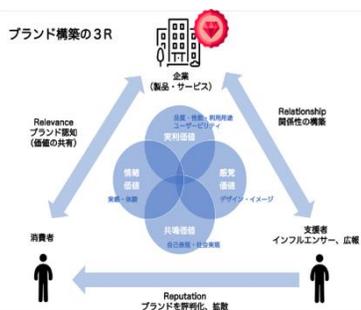


図5 ブランド構築の3R
 出典：地域ブランディング成功のための5つのポイント 株式会社イノバ

■具体的内容2

- 若者を中心に、就労支援を増やす
- 雇用機会を増やす

七尾にサポート施設を造る

■効果

- 働きやすい環境によって若者が増加

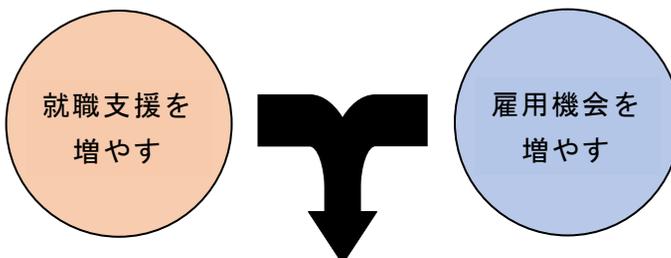


図6 就職支援、雇用機会の増加による効果

■参考文献

石川県の人口の状況と将来の展望
 5-3_jinko.pdf
 (ishikawa.lg.jp)

地域活性化の成功事例まとめ第一弾
 島根県海士町
 地域活性化の成功事例まとめ 第1弾
 島根県海士町 | 矢野優介 | note